掲載日:2026年05月25日,面名:U306X0,記事ID:K2026052500000006800

(C)河北新報社

福祉大全勝

16年秋以来 宮教大4位

仙台六大学野球

仙台六大学野球春季リーグ（仙台六大学野球連盟、東北放送、河北新報社主催）最終節第2日は24日、仙台市の東北福祉大球場で東北大―仙台大、東北学院大―東北福祉大の各2回戦があり、仙台大と福祉大が2勝した。優勝を決めている福祉大は勝ち点を5に伸ばした。仙台大は勝ち点を4とし、2季ぶりに2位に入った。全チームの順位も確定し、宮城教育大が2016年秋以来の4位になった。

仙台大は二回に小野寺の内野安打に敵失が絡み2点を先取。先発今野一が8回無失点と好投した。福祉大は一回に長谷の適時打などで2点を先取し、二回も加点。中盤に2点を返されたが、逃げ切った。

全日程終了後、同球場で閉会式があり、ベストナインと個人賞の発表があった。最高殊勲選手（MVP）は福祉大の猪俣が選出された。

◇仙台六大学野球春季リーグ勝敗表

	福祉大	仙台大	学院大	宮教大	東北大	工大	試合数	勝数	負数	勝ち点	勝率
①福祉大	◎	○○	○○	○○	○○	○○	10	10	0	5	1.000
②仙台大	●●	◎	○○	○○	○○	○○	10	8	2	4	.800
③学院大	●●	●●	◎	○○	○○	○○	10	6	4	3	.600
④宮教大	●●	●●	●●	◎	◐○●	○○	11	3	8	1	.273
⑤東北大	●●	●●	●●	○●○	◎	○●●	12	3	9	1	.250
⑥工大	●●	●●	●●	●●	◐○○	◎	11	2	9	1	.182

◇ベストナイン

投	猪俣　駿太	（福祉大４年、茨城・明秀学園日立）	③
捕	阿部　勇星	（学院大４年、福島東）	初
一	大久保　蓮	（学院大３年、宮城・聖和学園）	初
二	照井　陽太	（工大３年、青森・八戸学院光星）	初
三	広川　稜太	（仙台大４年、北海道・旭川大高）	初
遊	高岡　新時	（福祉大４年、京都・龍谷大平安）	初
外	伊藤　達也	（学院大３年、仙台育英）	初
	多田羅浩大	（福祉大３年、智弁和歌山）	初
	菅井　惇平	（工大４年、日本ウェルネス宮城）	②
指	吉沢　咲人	（仙台大１年、群馬・関東学園大付）	初

福祉大の猪俣 MVP

◇個人表彰

▷最高殊勲選手　猪俣駿太（福祉大４年、茨城・明秀学園日立）
▷最優秀投手　大城海翔（仙台大３年、滋賀学園）
▷首位打者＝５割５分２厘
高岡新時（福祉大４年、京都・龍谷大平安）
▷最多打点＝14打点
佐藤悠太（福祉大４年　兵庫・報徳学園）
▷最多本塁打（３本以上）　該当なし
▷最多盗塁＝11個
本郷泰成（東北大３年、仙台三）
▷敢闘賞　井尻琉斗（仙台大４年、北海道・北海）
▷優秀新人賞　吉沢咲人（仙台大１年、群馬・関東学園大付）

◇今季達成したリーグ記録

▷毎回奪三振　大城海翔（仙台大３年、滋賀学園）
＝21人目、福祉大１回戦・15個

福祉大が競り勝つ

学院大―福祉大2回戦（福祉大2勝）

学院大	0	0	0		1	1	0		0	0	0		2
福祉大	2	1	0		0	0	0		0	0	0	×	3

（勝）桜井3試合2勝
（敗）宝3試合1敗

【評】福祉大が競り勝った。一回に敵失と長谷の中前適時打で2点を先取。二回は多田羅の左前適時打で加点した。投げては4投手のリレーで2失点にとどめた。学院大は四、五回に1点ずつ返したが、その後は打線がつながりを欠いた。

○…**多田羅、勝ち呼ぶ3安打**　福祉大3年の1番多田羅が決勝打を含む3安打と躍動した。普段から仲が良い2年桜井の今季初先発試合とあって、気持ちが入っていた。

「『頼みます』と言われていて、自分のバットで勝ちを付けられた」と満足げだ。

二回、走者を二塁に置き、今季積み上げた対応力を発揮した。3ボール1ストライクから「速球が来る」と読み勝ち。外寄りのツーシームを左前にはじき返し、貴重な追加点を挙げた。

今季は対戦投手の配球や野球のセオリーを研究し、先頭打者に定着。外野手のベストナインも受賞し、飛躍を遂げた。「今度は自分が引っ張るという意識でやっている」と表情を引き締めた。

福祉大・猪俣駿太投手（初のMVP受賞）「野手が点を取ってくれたおかげで気楽に投げられた。一番優秀な選手に選んでもらったが、自分の結果にはまだ満足していない。全国で結果を残したい。（全日本大学選手権の）連覇は絶対条件だと思っている」

仙台大 リード守る

東北大―仙台大2回戦（仙台大2勝）

東北大	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0
仙台大	0	2	0		0	0	0		0	0	0	×	2

（勝）今野一4試合1勝
（敗）富久田5試合1勝1敗

【評】仙台大が序盤のリードを守り切った。二回2死二、三塁から、小野寺の三塁内野安打に敵失が絡み、2点を先取。先発今野一は8回2安打無失点で今季初勝利を挙げた。東北大は三、六回に三塁まで走者を進めたが一本が出ず、八回2死満塁の好機も逸した。

○…**今季初先発の今野一、8回無失点**　仙台大の今野一が今季初先発で8回2安打無失点と好投し、初勝利を挙げた。「この春は登板が少なく、その悔しさをぶつけた」と振り返った。

身長169㌢と投手としては小柄だが、体を打者にぶつけにいくような力感あふれる投球フォームで立ち向かった。序盤から140㌔台の直球やスライダーを駆使して的を絞らせず、許した安打は二回と六回だけだった。

八回は突然制球を乱した。3死球を与えて2死満塁のピンチを招いた。後続を中飛に打ち取ったが、「疲れたときの修正法を身に付けないといけない」と反省も忘れなかった。

東北大―仙台大　8回2安打無失点と好投した仙台大の今野一

学院大

		打	安	点
(一)	大久保	5	1	0
(遊)	松下	4	0	0
(右)	中伊藤達	3	3	1
(左)	伊藤和	4	1	0
(指)	阿部	4	1	0
(三)	佐藤曇	4	1	0
(二)	佐藤辿	3	1	1
(捕)	砂田	2	1	0
打	喜井	1	0	0
(中)	西城	2	0	0
打右	今	2	1	0

振球犠併残
3 1 3 0 9 34 10 2

福祉大

		打	安	点
(中)	多田羅	5	3	1
(二)	渡部	5	1	0
(左)	松本	3	0	0
(一)	土屋	3	0	0
打一	新岡	1	0	0
(右)	長谷	4	3	1
(指)	藤原	3	1	0
(三)	回段	4	0	0
(遊)	三宅	4	1	0
(捕)	高橋	3	1	0

振球犠併残
7 3 0 0 11 35 10 2

(三)長谷(二)伊藤和、渡部、高橋、藤原、阿部、長谷盗長谷
(失)砂田(遊)砂田
(時)2時間15分

投	手	回	打	安	責
	宝	3	16	6	2
小	野	5	22	4	0
桜	井	5	23	7	2
柴	田	2	8	2	0
塚	田	1	3	0	0
小	倉	1	4	1	0

東北大

		打	安	点
(中)	本郷	3	0	0
(遊)	田村	4	0	0
(右)	真下	4	0	0
(捕)	浜岡	4	1	0
(指)	山下	3	0	0
打	遠藤	1	0	0
(一)	稲葉	3	0	0
(左)	美才治	1	0	0
(二)	真谷	1	1	0
(三)	竹山	3	0	0

振球犠併残
6 4 1 1 5 27 2 0

仙台大

		打	安	点
(指)	吉沢	3	2	0
(左)	内藤	3	0	0
打	前田	1	0	0
左	原	0	0	0
(右)	斎藤	4	1	0
(一)	瀬川	4	0	0
(二)	石川	3	2	0
(三)	広川	3	0	0
(遊)	新保	3	1	0
(中)	今野悠	2	0	0
(捕)	小野寺	3	1	1

振球犠併残
1 2 0 0 5 29 7 1

(二)真谷、斎藤、新保盗吉沢
(暴)富久田(失)竹山
(時)2時間14分

投	手	回	打	安	責
富久田		4⅓	18	4	1
対	馬	3⅔	13	3	0
今野一		8	29	2	0
菊	地	1	3	0	0